

## 日本陸上競技連盟からのお知らせ

## 目 次

## ■活動報告

## ●会長就任にあたって(日本陸上競技連盟 会長 尾縣貢)

本連盟は、2021年6月21日に第68回理事会を開催し、尾縣貢理事が新会長に就任いたしました。

## ●2021年度 JAAF U-10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!! 陸上遊び 香川会場 実施報告

本事業は「児童期は陸上競技の基礎をつくる大切な時期と考え、子ども達に対してできるだけ多くの体験機会を作るとともに、それを支援する指導者を始めとするアントラージュの拡充に取り込むこと」を目的としています。2019年までアスリートクリニックという事業として実施をしていましたが、昨年度より、「指導者講習会兼みんな集まれ!!陸上遊び」という名称で実施をすることにいたしました。ただし2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての事業を中止しました。そして今年度、初回となる本事業を、6月18日(土)・19日(日)、香川県で開催しました。

## ●「7C-Teensプロジェクト」始動!

オンラインミーティングおよび日本選手権バックヤードツアーを実施しました!

大会運営に興味のある7名の高校生で結成された本プロジェクト。多くの人々が、“する・見る・支える”様々な形で陸上競技を楽しむことができるよう、大会運営について学び、考える場として発足いたしました。この活動を通して、大会の舞台裏を支える人々の魅力や運営に関する課題を見つけ、影の立役者としての第一歩を踏み出したくなるような未来の大会について考えることを狙いとしています。

## ■大会観戦ガイド

「令和3年度全国中学校体育大会 第48回全日本中学校陸上競技選手権大会」

「日清食品カップ」第37回全国小学生陸上競技交流大会」

## ■事務局からのお知らせ

「2021全国高校リモート陸上競技大会」全国ランキングが確定!!

【東京2020オリンピック競技大会】特設サイトのご紹介

## information

- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2021年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/14004/>



- ・シューズ規則/広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



# 会長就任にあたって



この度、任期満了に伴う役員改選におきまして、横川浩前会長の後を引き継ぎ、公益財団法人日本陸上競技連盟会長を拝命いたしました。今、スポーツ界は、いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症による社会状況の大きな影響を受け、苦境に立たされております。これまでの10年間の専務理事としての経験をいかし、陸上競技の価値、スポーツの価値を実直に問い、第一歩を踏み出したいと思っております。

正直に申し上げますと、華々しく花火を打ち上げたいところですが今はそういう状況にはございません。まずは、組織を地道に立て直すことが必要であると考えております。これは多くの競技団体に共通することですが、本連盟は、このパンデミックにおいて大幅な収益減となりました。経費削減に努めるとともに、収益増加策の構築を図らなければならないと思っております。そのためには収益構造の見直し、それから事業の見直しが必須となります。

そのようななかで競技団体のエンジンは何と言ってもアスリートの活躍です。競技力向上につきましては、本連盟のミッションの二つの柱の一つ、国際競技力の向上を目指し、積極的に推進して参ります。ただ、これからは狭義の育成強化から広義の育成強化へと、広い意味での競技力向上を考えていかなければならないと思っております。

トップアスリートの活躍、それが憧れの醸成に繋がるように。憧れと言うのは、アスリートに対して、あるいは陸上競技に対して、スポーツに対しての憧れです。これがエンジンとなり、競技人口の増加、アスレティックファミリーの増加へと繋がり、そしてそれを本連盟のミッションのもう一つの柱、ウェルネス陸上の発展に繋げて参ります。このサイクルが回れば、当然ながらマーケティングも実を結んでいくと考えております。

そのために何が必要であるかを考えますと、やはり競技会を面白いものにすることです。参加するアスリートのみならず、多くの方々に競技会場に足を運んで頂く工夫、あるいはオウンドメディアを通じて様々な情報を発信し身近に親しむ場の創造も続けて参ります。今私どもにできることを考え、多くのスポーツを愛する皆様に陸上競技の魅力を存分に届けて参ります。

そして、もう1点は指導者の養成です。今までも力を入れて参りましたが、先進的な競技団体と比べますと、本連盟の指導者養成制度はまだ脆弱だと考えております。2018年に策定した競技者育成指針において、一人でも多くの人が陸上競技を楽しみ、極め、また少しでも長く続け、関わることを願うことを謳っておりますが、その牽引役は指導者をおいて他なりません。

陸上競技の指導はいかにあるべきか、指導者はどのように育てられるのかを示した2020年公表の指導者養成指針が、学校のなかでの運動部、地域のスポーツクラブ、そしてランニングを始めとする愛好者の指導者、多くの方々に浸透していきますと、当然ながらトップアスリートのコーチングも更に良いものになると考えますので、幅広く指導者養成制度を整備して参ります。

そして最後になりますが、運営の基盤強化について触れたいと思っております。日本陸上競技界の根幹を支えて頂いている加盟団体、協力団体を始めとする地域や関連団体と連携しながら、ガバナンスの確立、コンプライアンスの遵守に注力し、組織の多様性を重視して参ります。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後を見据え、いろいろなことを変えられるのがこのタイミングだと思いますので、失敗を恐れず改革を進めていく覚悟でおります。

関係各位の日頃からのご協力に心より御礼申し上げますとともに、今一層、皆様のご理解、ご支援をお願いいたしまして就任のご挨拶といたします。

公益財団法人日本陸上競技連盟  
会長 尾縣 貢

# 2021年度 JAAF U-10 指導者講習会 兼 みんな集まれ!! 陸上遊び 香川会場 実施報告

指導者養成委員会 普及ディレクター 岸 政智

## 【本事業の目的】

児童期は、陸上競技の基礎をつくる大切な時期と考え、子ども達に対してできるだけ多くの体験機会を作るとともに、それを支援する指導者とするアントラージュの拡充に取り込むことを目的としています。

## 【日本陸連の取り組み】

2019年までアスリートクリニックという事業として実施をしていましたが、昨年度より、「指導者講習会みんな集まれ!!陸上遊び」という名称で実施することにいたしました。ただし2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての事業を中止しました。そして今年度、初回となる本事業を、6月18日(金)・19日(土)、香川県で開催しました。

指導者養成委員会としては、指導者の数を増やし、質を向上させることが喫緊の課題であり、それを担保するためにも、学校の教員、地域スポーツクラブ、クラブチームの指導者等が一体となってこれを行わなければならないと考えております。特に今回実施した香川県では、指導者講習会の参加者全員が小学校の教員であり、中には陸上を経験した先生もいましたが、未経験者が多数おられました。こうした、陸上競技経験を問わず現場で指導されている先生方に講習を行うことが、陸上競技のすそ野を広げ、陸上競技(遊び)を好きになる子どもが増えることにつながることを期待しております。

本事業は今年度、U-10(小学3・4年生対象)を4会場、U-13(同5・6年生対象)を2会場、U-16(中学1年生対象)を2会場の計8会場の開催を予定しており、今回開催の香川以降は10月より実施いたします。事前の参加者募集や準備、打ち合わせ、当日の運営など、開催する陸協の皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

## 【講習会の内容】

本事業で、参加指導者は、まず指導者向けの講習会(講師は日本陸連指導者養成委員会)を受講し、基本的なコーチングスキル、指導方法、安全管理等を学び、それら知識を得たうえで、翌日に、実際の指導現場を見て実践を学ぶ流れとなります。

今回の香川での講習会は、以下の通り実施しました。

1日目は、指導者向けに、コーチングスキル、安全管理、指導現場の設定などの講習を行いました。講習形式は集合講習とオンライン講習のハイブリット形式で実施しました。

2日目、参加の子ども達は、まず発育発達についての講義を、映像を見ながら学びました。その後競技場で、3つの遊び(走る・跳ぶ・投げる)を基本的なポイントを押さえながら楽しく学びました。小学生の時期は、専門的な陸上競技ではなく、まずは楽しく遊びながら、様々な種目(運動)を行うことが重要です。参加した子ども達は、とても楽しみながら笑顔で取り組んでくれました。

「走る・跳ぶ・投げる」を楽しく体験した後、光電管を使用した50mのタイム測定にも挑戦し、その後3つの遊びを取り入れたリレー「フォーミュラーワン」を行い、チームで盛り上がる中、午前中のプログラムを終了しました。

昼食を挟み、栄養講習では、日本陸連医事委員会スポーツ栄養部の先生から、実際にお昼に食べたものが、どのような栄養になっているかなど、栄養や食事の大切さを学びました。

2日目は、子ども達と指導者だけでなく、子ども達の保護者にも、各講習を見て、聞いて、学んでいただきました。

## 【講習会の流れ】

1日目 参加者：指導者

18:00～19:00 指導者講習会 コーチングスキル・安全管理  
2日目の進行や説明

2日目 参加者：小学生、指導者、保護者

9:00～ 開講式  
9:05～9:25 理論講習(発育発達)  
9:35～10:20 実技講習①(走遊び)  
10:30～11:05 実技講習②(跳遊び)  
11:10～11:50 実技講習③(投遊び)  
12:00～12:20 リレー「フォーミュラーワン」  
12:25～12:55 昼食  
13:00～13:30 理論講習(栄養)  
13:40～ 閉会  
14:00～ 質疑応答・反省会

香川陸協の先生方の献身的な協力もあり、非常に活気に満ちた講習会になり、ケガも無く無事に終了いたしました。閉会後に行った質疑応答では、時間を過ぎても、質問される先生が多数おり、とても充実した時間になったと感じております。

最後になりましたが、本講習会の初回開催として、ご尽力頂いた香川陸上競技協会普及部長の本田恵先生、事前の打ち合わせから当日の準備等にご理解、ご協力をいただいた同協会の先生方に厚く御礼申し上げます。





# 「7C-Teensプロジェクト」始動！ オンラインミーティングおよび日本選手権バックヤードツアーを実施しました！



## 【プロジェクト概要・活動内容】

日本選手権バックヤードツアーにご応募いただきました、大会運営に興味のある7名の高校生で結成された本プロジェクト。多くの人々が、“する・見る・支える”様々な形で陸上競技を楽しむことができるよう、大会運営について学び、考える場として発足いたしました。オンラインミーティング及び日本選手権バックヤードツアーなど、約3か月間にわたり活動いたします。

この活動を通して、審判や補助員など大会の舞台裏を支える人々の魅力や運営に関する課題を見つけ、影の立役者としての第一歩を踏み出したくなるような未来の大会について考えることを狙いとしています。

## 【プロジェクト名】

### 「7C-Teensプロジェクト」

7人が意見を出し合って決定した、本プロジェクト名。Challenge（挑戦）、Create（創造）、Confident（自信）の3つの“C”をテーマに掲げ、若い世代ならではのアイデアを出し、大会運営について議論を深め合う、これまでにない新たな活動にチャレンジします。最後のConfidentには、7人が自信をもって本プロジェクトを卒業し、ここで得た経験をそれぞれの場で生かせるようにという思いも込められています。

## 【プロジェクトメンバー】

### 高校生 全7名

山中 杏珠	やまなか あんじゆ	松本秀峰中等教育学校(長野)	2年
大谷 晴海	おおたに はるみ	磐城緑蔭高等学校(福島)	3年
赤間 美恋	あかま みれん	古河中等教育学校(茨城)	2年
田辺 勇希	たなべ ゆうき	成蹊高等学校(東京)	3年
中村 えみり	なかむら えみり	日本女子体育大学附属二階堂高等学校(東京)	3年
宮東 桜子	みやとう さくらこ	都立国際高等学校(東京)	1年
塚本 華帆	つかもと かほ	鹿本高等学校(熊本)	2年

## 【第一回 オンラインミーティング】

6月9日(水)初めて全員がオンライン上で集まり、第一回の打合せを行いました。

### ～内容～

#### 第一部 オリエンテーション

#### 第二部 日本選手権オンラインツアーに向けて

第一部では、本プロジェクトの概要確認と自己紹介などを行いました。初めて顔を合わせ、最初は緊張感もありましたが、審判に興味を持ったきっかけなど自己紹介をしながら少しずつ

お互いの理解を深めていきました。さらに、プロジェクトの名称についても、それぞれが事前に検討した案をベースに、この場で決定をしました。

第二部では、日本選手権バックヤードツアーに向けて、日本選手権が全国の競技会の中でどのような位置付けの競技会であるか、競技会はどのような人々で成り立っているのか、“支える人”が審判だけではないことなどを学びました。

さらに、今回のツアーではどのような役割を担う部署を視察したいか。なぜ、その部署を見たいのか。自身が選手や補助員として関わってきた競技会や、観戦経験のある競技会を思い出しながら、それぞれの意見を挙げていきました。

今回の活動は、日本選手権でのバックヤードツアー（オンライン）。支える人たちが活躍する舞台裏に潜入します。審判の課題や魅力の発見を通して、よりよい競技会運営について議論を深めていきます。

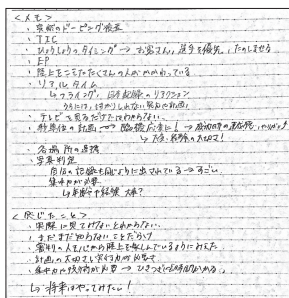
## 【第二回 日本選手権バックヤードツアー】

6月27日(日)、本プロジェクト第二回の活動として、日本選手権バックヤードツアーを実施しました。本プロジェクトにとってメインの活動でもある、日本選手権の舞台裏を視察するツアー。舞台裏といっても、選手ではなくその舞台を支える審判やスタッフなど支える人々の裏側を、オンライン（Zoom）を使って約2時間、映像でお届けしました。具体的には、ミックスゾーン、中継車両、サブトラック、EPルーム、アナウンス室、写真判定室、VIPルーム、選手入場ゲート裏、その他諸室など、普段見ることのできない場所を中心に、本連盟スタッフがリアルタイムでカメラを回しながら7人の参加者と繋ぎました。参加者によっては、テレビ（NHKの中継）と本ツアーの映像を同時に比較しながら視聴しており、競技役員やスタッフの指示が、大会の進行や演出にどのように繋がっているのかも楽しみながら見ていたようです。

終了後、参加者からの感想には、「写真判定室とEPルームは緊張感もあり、画面越しでも十分伝わってきました」、「同じ夢を持つ人と過ごす時間は、かけがえのない時間になりました」、「陸上好きなんだと、改めて思いました」などの声が届きました。

次回、第三回のオンラインミーティングでは、第一回のミーティングと、第二回のバックヤードツアーをふまえて、より多くの人に興味をもってもらったり楽しんでもらうための大会運営について考えていきます。

(第三回の活動内容については、次号に続く)



赤間 美恋さんの  
バックヤードツアー メモ

# 大会観戦ガイド

## 令和3年度全国中学校体育大会 第48回全日本中学校陸上競技選手権大会

- ▼期日：令和3年8月17日（火）～20日（金）  
17日（火）  
開始式 14：30～14：50  
18日（水）競技 9：30～12：40、14：00～18：10  
19日（木）競技 9：30～12：50、14：00～18：10  
20日（金）競技 10：00～11：40、14：00～15：30
- ▼会場：笠松運動公園陸上競技場  
〒312-0001 茨城県ひたちなか市佐和2197-28  
（管理事務所）TEL 029-202-0808 FAX 029-202-6661
- ▼アクセス：  
〈お車でお越しの場合〉常磐自動車道 那珂ICより約6km 東水戸道路ひたちなかICから約13km 常磐自動車道日立南太田ICから約7km 常磐自動車道東海PAスマートICから約4km  
〈公共交通機関をご利用の場合〉JR常磐線佐和駅より約3.5km JR常磐線東海駅より約3.5km
- ▼競技種目：  
(1) 男子（13種目）  
100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH（0.914m/9.14m）、4×100mR、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投（5.000kg）、四種競技〔①110mH（0.914m/9.14m）、②砲丸投（4.000kg）、③走高跳、④400m〕  
(2) 女子（10種目）  
100m、200m、800m、1500m、100mH（0.762m/8.00m）、4×100mR、走高跳、走幅跳、砲丸投（2.721kg）、四種競技〔①100mH（0.762m/8.00m）、②走高跳、③砲丸投（2.721kg）、④200m〕
- ▼問合せ先：  
(1) 大会開催前  
〒306-0225 茨城県古河市磯部1773  
古河市立総和南中学校内  
令和3年度全国中学校体育大会実行委員会  
第48回全日本中学校陸上競技選手権大会事務局  
TEL：080-2024-6237 FAX：0280-92-8380  
担当者：佐藤 稔  
(2) 大会期間中 8月17日（火）～20日（金）  
[昼間] 笠松運動公園陸上競技場 陸上競技大会総合案内所 TEL：080-2024-6237  
[夜間] チサンインひたちなか  
〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-11

TEL：080-2024-6237

- ▼大会ページ：  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1564/>

## “日清食品カップ” 第37回全国小学生陸上競技交流大会

- ▼期日：2021年9月18日（土）・19日（日）の2日間
- ▼会場：神奈川県横浜市・日産スタジアム  
〒222-0036 横浜市港北区小机町 3300  
TEL 045-477-5000
- ▼アクセス：  
JR東海道新幹線・JR横浜線 新横浜駅から徒歩14分  
横浜市営地下鉄 新横浜駅から徒歩12分  
JR横浜線 小机駅から徒歩7分
- ▼競技種目：  
5年生100m 男/女  
6年生100m 男/女  
コンバインドA：80mハードル・走高跳 男/女  
コンバインドB：走幅跳・ジャベリックボール投 男/女  
男女混合4×100mリレー\*中止
- ▼大会ページ：  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1569/>



事務局からのお知らせ

◆◆「2021全国高校リモート陸上競技大会」全国ランキングが確定!!◆◆

本連盟が全国の高校生アスリートを対象に、新しい競技会の形としてリモート形式で実施した「2021全国高等学校リモート陸上競技大会」の指定大会がすべての都道府県で終了し、ランキングが確定しましたので、お知らせいたします。

この大会は昨年より実施された本連盟の新たな取り組みとなり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が中止となるなど高校生アスリートの陸上競技活動に制約を受けたことをきっかけに行われております。

本年はインターハイの出場権も兼ねた高校総体都道府県大会及びブロック大会、計67大会を指定大会とし、出場した高校生アスリートの記録をワールドランキングと同様の方式でポイント化して集計し、本連盟の公式サイトにランキングの形で延べ82,176人のベストのポイントと記録を掲載しました。対象者全員が全国大会の参加者となり、全国の中での位置を知ったり、記録証や参加認定証をダウンロードしたりすることが可能です。



▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15256/>



▼特設サイトはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/remote/highschool/>



◆◆東京2020オリンピック競技大会 特設サイト◆◆

2021年7月30日から8月8日まで開催された「東京2020オリンピック競技大会」についての情報を掲載しております。

リザルト、日本代表選手の情報、各日のレポート記事や選手コメントなど10日間の熱い戦いの様子を掲載しております。

是非ご覧ください！

▼特設サイトはこちら

<https://www.jaaf.or.jp/olympic/tokyo2020/>



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)  
友永 義治 (陸連副会長)  
八木 雅夫 (陸連副会長)  
尾縣 貢 (陸連専務理事)  
麻場 一徳 (陸連強化委員長)  
鈴木 英穂 (陸連事務局長)  
牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

石井 朗生  
◇時報編集担当  
石田 夢

陸連時報編集室

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階  
日本陸上競技連盟内  
TEL : 050-1746-8410  
FAX : 050-3588-1869